



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ  
http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## 市長とトーク in 志津南



トークには伊庭市長のほか、市幹部ら10人、地区からは各町内会長9人が出席しました。伊庭市長のあいさつのあと、まず「かがやき通り沿道の住宅

は、難しい面もあるが、引き続き要望していききたい」としました。自治連側からの「南大菅青地線が完成すれば、逆にもっと混

幅22mの駅南線が大江霊仙寺線まで伸び、駅周辺の渋滞が少し緩和される」と説明。また、昨年3月に設置した若草一丁目の歩車分離式信号機については「歩行者の安全を優先することによって逆に交通渋滞が起きている。交差点のスクランブル化について

## 交通問題中心に質疑応答

### 南小前の通学路安全確保も

市長を囲んで地域問題を語り合う「市長とトークIN志津南」が2月10日、志津南市民センター(公民館)で行われました。

および商店の増加に伴う生活影響問題」について話し合われました。この中で市は「南草津駅西側の整備が19年度に完了、

雑するのではないかと質問したのに対し、市は「駅南線完成後、南笠へ抜ける大江霊仙寺線につながる道路と湖南幹線に抜ける道路を計画している。平野南笠線が整備されれば渋滞も緩和される見通し」と説明しました。さらに「道路が混むのならモノレールを検討してどうか」の問いに対しては「二酸化炭素

の削減ができるモノレールなどは以前も検討したことがある。技術的なことも含めてもう一度検討したい」としました。このほか「南草津駅の駐輪場から駅までの間を通行しやすくしてほしい」には「19年度末完成を目指し、駐輪場から駅までの道を整備する予定」とし

「志津南小学校前の通学路の安全確保」については「19年度以降南側の歩道は、道路の形態上ガードレールの設置は難しいが、横断防止柵を設置したい。街路樹は道路環境保全の観点から全部伐採はできないが部分的に伐採し自転車とすれ違える程度の待避スペースを設けたい」と改善措置を講じる考えを明らかにしました。

## 4月1日からHP一新

### 防犯防災新設、要望に応える

4月1日から「志津南ホームページ」の一部リニューアルされます。トップ画面を明るい色調のレイアウトに一新

するとともに、類似情報をまとめ検索しやすくしました。また「防犯防災」画面を新設、リンク集を別窓で表示し元の画面に戻り

進めており、ホームページのアンケートなどに寄せられた要望、意見をもとに討議を重ねています。既にご承知の通り、ホームページは、草津市の地域情報化パイロットモデル事業として、一昨年5月に稼働しました。以来、徐々に住民みなさんに知られるようになり、アクセス数も右肩上がりに増加しています。

やすくなりました。さらに身近な情報をきめ細かくお知らせする自治連情報コーナーの新設も検討しています。現在、若草ネット委員会作業部会(森洋二郎部会長)を中心に、ホームページの全面的見直しを

その一方で、情報内容に対して利用者から不満も聞こえてきたことから、今回、リニューアルに踏み切りました。住民に役立ち親しめるホームページとするため、さらに衆知を集めたいと考えています。一人でも多くの方が加わって下さるよう願っています。(若草ネット委員会)



# 福祉のまちづくりへ

## 福祉懇で活発な意見交換



懇談会であいさつする小野会長

志津南地区社会福祉協議会（小野栄祐会長）の第2回地域福祉懇談会が2月11日、志津南市民センターで開かれ、福祉のまちづくりに向けた意見交換が行われました。昨年10月に開催したワークショップ方式の「住民同士が助け合う地域福

祉について考える地域福祉懇談会」の報告会を兼ねて開かれたもので、安心・安全・健康で暮らせるために、どのような福祉のまちづくりが必要か、との問いかけに対し、高齢者の支援、児童・青少年の育成、子育て支援、高齢男性向け活動の充実、医療支援、ふれあい運動、地域の支援システムの確立や充実を求める声が相次ぎ、地域福祉の深さと広さが浮き彫りになりました。



児童に語りかける柳生さん

治連合会と一体となって課題解決に取り組んでいきたいと考えています。  
なお、同懇談会の詳細について

## 南小児童の観察発表会 柳生さん招き自然の知恵学ぶ

「八ヶ岳倶楽部」代表の柳生真吾さんを迎えて、志津南小の

子どもたちが撮影した自然観察の成果を発表する公開授業が2月22日、同校で行われました。昨年12月に校庭など校内を舞台上に児童たちが普段なら見逃してしまうような光景をデジタルカメラに収めたもので、今回が同校訪問通算3回目となる柳生さんが講師しました。

柳生さんは、子どもたちと同じようにごさを敷いた教室の床に座りながら、一人ひとりの作品について良い点をほめるなど、感想を述べていきました。

また、柳生さんはカタクリの話を通して自然界の不思議さを知恵に触れ、そうした自然のすばらしさを示す八ヶ岳の四季を映像で紹介しました。

## 総会日程

自治連および各町内会の総会が次の通り行われます。会場はいずれも志津南市民センター（公民館）です。

3月18日（日）  
自治連合会 10:00～12:00  
（受付9:45～）

3月24日（土）  
若草1丁目 9:00～10:15  
（受付8:40～）  
若草2丁目 10:30～11:45  
（受付10:10～）  
若草3丁目 13:00～14:15  
（受付12:40～）  
若草4丁目 14:30～15:45  
（受付14:10～）

3月25日（日）  
若草5丁目 9:00～10:15  
（受付8:40～）  
若草6丁目 10:30～11:45  
（受付10:10～）  
若草7丁目 13:00～14:15  
（受付12:40～）  
若草8丁目 14:30～15:45  
（受付14:10～）  
岡本町西 16:00～17:15  
（受付15:40～）

当社会福祉協議会は今後、自

自然の持つ瞬間の美しさを一瞬懸命に撮る子どもたちの気持ちを自分の体験と重ね合わせて講評してくださいました。



最後に「夢を忘れないで」を全員で合唱、お楽しみ会の幕を閉じました。

## カレー食べ思い出語る

### 「わんぱく」のお楽しみ会

「わんぱくプラザ南っ子」の今年度を締めくくると「お楽しみ会」が3月10日、志津南市民センターで開催されました。子どもたちと、今年度わんぱくプラザでお世話になった方々

ある」と話す、子どもたちはうれしそうに顔を輝かせていました。そうした瞬間を大切にしたい者にしか分からない心の交流があり、子どもたちからの柳生さんへのお礼の手紙にも、真剣に学んだ気持ちが書かれていました。

子どもたちの思いを丁寧に受け止める柳生さんの姿には、私たち教師にも学ぶところが大きいように思いました。

（志津南小学校長 鷹羽美榮子）

# ホンモロコに舌鼓

## 琵琶湖の豊かさを実感



ホンモロコを調理する参加者

この日の講座のために運び込まれたホンモロコは約1キ。体長6センチほどの大きさで、まだヒチヒチと跳ねるなど新鮮そのもの、そのまま飼育できるほどでした。

8人の受講生は手分けしてそのモロコを南蛮漬けと素焼きにし、やはり琵琶湖の固有種であるアミノイオ(ビワマス)ご飯と一緒に試食。滅多に食べられない珍しい食材を口にし、改め

て琵琶湖の食資源の豊かさを実感しました。

とくにホンモロコは、3日前から餌を止め、腹をきれいにしているため「泥臭さもなく、養殖とは思えないほどおいしい」と盛んにはしを運んでいました。

調理の指導にあたった「滋賀の食文化研究会」の長俊子さんは、骨ごと食べることも多い湖魚の栄養価値や伝統の味覚伝承の大切さ、琵琶湖の水環境保全への配慮などにも言及。「琵琶湖の恵みをもっと暮らしの中に取り入れ、豊かな食生活を目指したい」と話し、講座を締めくくりました。

志津南公民館主催の家庭教育支援講座のひとつ「ドラえもん



子ども達も加わって「ドラえもん」

と遊ぼう」が2月19日、同公民館で行われ、親子32人がテレビアニメでおなじみの顔ぶれのコントを楽しみました。

今回は守山市を中心に活動している「ドラえもん劇団」(杉江富美子代表)の着ぐるみ劇。台本から着ぐるみまで全て手作りの草の根劇団のこの日の出し物は「大きなかぶ」と「電車に乗って」の2つ。

「大きなかぶ」は、おじいさんとおばあさんが大きなかぶを

抜くときにドラえもんたちが手伝うという絵本をアレンジしたもので、劇が始まると子どもたちは、ふだんテレビなどで見られているキャラクターが登場すると身を乗り出していました。

また劇の途中で子どもたちが舞台上がって劇に参加する場面もあり、子どもたちの笑い声が会場に響いていました。

今年度から始まったこの講座も今年で最終の3回目。「共遊び共育ち」のテーマの通り、一緒に遊び学ぶ楽しさを感じてもらおうと、公民館では来年度も引き続き講座を予定しています。

(龍大学生取材班)

## ドラえもん劇楽しむ 公民館の子育て支援講座

志津南公民館の「やすらぎ学級」2月講座が28日、同公民館で開かれ「SPレコードで聴く懐かしの唄」をテーマに一世を風靡(ふうみ)うび)した、いわゆる流行歌を世相解説とともにレコードで聴きました。

講師を務めたのは、SPレコードを手にお年寄り慰問などのボランティア活動を続けている市内在住の富田征夫さん(71)。

富田さんは自分の母親の観察から耳になじんだ音楽が記憶を呼び覚まし、それが

約60人の参加者は「CDより音質が

いい(富田さん)という昭和初期から同34年ごろまでのレコードの歌声に耳を傾けながら口ずさんだり、思い出にふけるなど、それぞれが自らの記憶と重ね合わせていました。

(龍大学生取材班)

狂犬病注射の受け付け

草津市の狂犬病予防注射の受け付けが4月18日(水)午後1時40分から2時30分まで、志津南市民センター(公民館)駐車場で行われます。注射手数料三千二百円と登録確認八ガキ、登録カードを持参して下さい。詳しくは市民課(電話56112340)へ。

SPレコードで昔しのぶ

「やすらぎ学級」が粋な講座



SP盤を手に解説する富田さん

SP盤を手に解説する富田さん

SP盤を手に解説する富田さん

SP盤を手に解説する富田さん

SP盤を手に解説する富田さん

# こひみ

- 3月18日(日) 草津市合唱祭 13:00~16:00 入場料:無料 草津アマカホール
- 3月20日(火) 志津南小学校卒業式 9:00~11:00 志津南小学校
- 3月24日(土) 若寿会:社会奉仕 8:45 若草中央公園集合
- 4月1日(日) 若寿会総会 11:00~15:30
- 4月6日(金) 定例健康相談 10:00~12:00 市健康推進課 ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 4月7日(土) 若寿会:健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合 天井川の桜と草津名物「うばがもち」作り 9:00 草津駅東口「街道ふれあい広場」集合 参加費:大人1000円、子ども700円 持ち物:弁当、水筒、帽子、雨具、タオル、エプロン
- 4月8日(日) 県議会議員選挙投票日 7:00~20:00
- 4月9日(月) 志津南小学校入学式 10:00~ 志津南小学校 高穂中学校入学式 13:00~ 高穂中学校

印の会場は志津南市民センター(公民館)です。



## 味ににじむ心根

ごはんや

### 月影さん



店の名前が「ごはんや月影さん」。「月影」というロマンチックな言葉の前に「ごはんや」という極めて庶民的な冠がつくと

ころがほえましい。そこに商いの心根を汲み取れる。オープンして3年余になる。

まったくの素人料理からのスタートだったが、当時の顔なじみが今も店を訪れてくれると顔をほころばせる。

増える。お品書きには「野菜もん」「海のもの」「ちよっと手の込んだ一品もん」「地どりもん」などと「ごはんや」らしい

この店のあるじは辻寿人さん(36)。奥さんの弥生さんと二人で切り回している。7年前に勤めながらお母さんと一緒に石山で食事処を持ったのが、この道のなれそめ。その後、本格的にやろうと7年前に脱サラ、瀬田でフーズバー「月影」という店を開いた。

「お友だちの家に行ったように、くつろいで食事してもらえればうれしい」。寿人さんと弥生さんは照れくさそうに、こづ声をそろえる。

前置きはこれくらいにして肝心のメニューに移る。まずランチ(当初はやっていなかったそうだが)から。定番が三通り。ハンバーグに焼きそば、焼き魚。ほかに日替わりとして肉系と魚系の2定食。いずれも小鉢2、サラダ、味噌汁、漬物、ご飯がつく。これで900円。夜はこれに一品ものがグッと

場所 若草1丁目6-6 電話 564 5005 営業 昼・火 金曜日 (11時半~14時) 夜・月 土曜日 (18時~24時) 祝日=昼は休業。夜は日曜日のみ休業。 駐車 4台

## みんなの広場

今年の冬は暖かいですね。雪が少なく雪まつりやスキー場でも営業に苦労しているところもあります。

20度にもなり、もう桜が咲いたとか、東京で初雪なしの記録を更新したとか、世界各地で異常気象が起きており、私はとても危機感を持っています。小さなことでも温暖化防止のために、できることから実行しようと思っています。

### 地球温暖化考

人里に出没、農作物を荒らした末に命を落とす例もあとを絶ちません。地球温暖化が進んでいるせいでしょう。

以前はマイカー通勤していたのをバスや電車に変えました。わが家は厚着をして暖房の設定温度を下げています。地球環境をこれ以上悪化させないためにも、自分でできることは少しでもやっつけていきたいと考えています。(若草3丁目・丁)

### 児童遊園十字路にミラー

若草 丁目の児童遊園十字路に3月9日、カーブミラーが写

真が設置されました。同十字路は歩行者や自転車の通行が多く、かがやき通りから左折してくる車による事故が心配され、若草1丁目町内会(原田茂樹会長)がかねてから草津市にカーブミラーの設置を要望していました。

ドライバーのみなさんは徐行し、安全を確認して下さい。

